

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	5
2. 大学等名	徳山大学
3. テーマ	I. アクティブ・ラーニング
4. 取組学部等名	経済学部・福祉情報学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（396文字）
<p>本学では、学生に主体的な学びの場を提供する教育改革を「地域課題の発見と解決」をテーマとするアクティブラーニング（AL）の導入によって実現し、「地域に輝く徳山大学」をめざす教育改革に取り組んできた。これを成功させ真の「教育の質の転換」へ結び付けていくには、PBL型学修に留まらず、通常講義で用いられる一般的なAL手法を含む「AL教育全般」を底上げする、講義改革が重要となる。そこで本事業では、①全学的ALの推進（推進の組織基盤（TUAL）の整備、AL実施状況の把握、PBL型学修促進と一般授業におけるAL手法の導入促進、AL導入による教育効果の定量的検証）、②AL推進のための教員育成とFD活動（AL手法の研究・開拓と共有化、AL推進に向けた教員意識の醸成）、③学生間の相互教育（循環型人材教育）の促進（サポート学生教育の授業科目化、ピアサポートの強化推進）、の3点を軸とした教育改革を推進し、本学改革の加速・促進を目指す。</p>	